竹原管内景況調査

12月の景況DIは、製造業、非製造業ともに悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和6年12月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

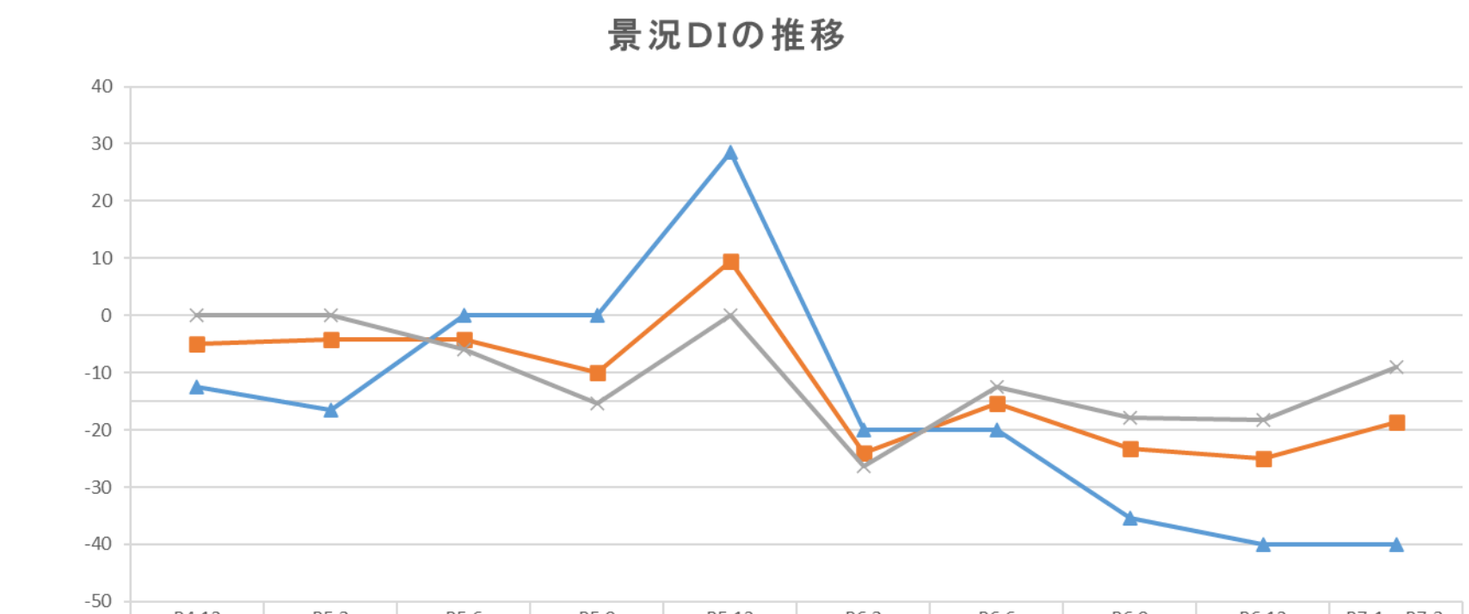
調査概要

【調査時期】
四半期毎に調査（年4回実施）
【調査期間】
令和6年12月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	19	16
建設	9	6
小売	19	16
サービス	19	11
合計	66	49

●全産業におけるDI値



	R4.12	R5.3	R5.6	R5.9	R5.12	R6.3	R6.6	R6.9	R6.12	R7.1～R7.3
全体	-5	-4.2	-4.2	-10	9.5	-24.1	-15.4	-23.2	-25	-18.7
製造	-12.5	-16.6	0	0	28.6	-20	-20	-35.3	-40	-40
非製造	0	0	-5.9	-15.4	0	-26.3	-12.5	-17.9	-18.2	-9.1

12月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は4．7ポイント悪化、非製造業は0．3ポイント悪化しました。
12月と比べて1月～3月までの見通しは、全体では、6．3ポイント好転しています。



※DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目についての判断の状況を示します。
ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値（▲）は景気の 下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転（悪化）した理由について

・経済、国際状況により海外での好不調のバラツキが大きくなってきた。（製造）
・原材料高騰、賃金上昇のため景況の悪化のため。（製造）
・市役所工事の受注を期待していましたが何もなく、市役所からの発注の仕事も少なく難しい状況（製造）
・物価高と人件費の高騰、また米の価格の上昇が大きい。（製造）
・官公庁の工事量は減っているが、民間工事が増えており、工事価格が早く反映されている。（建設）
・仕入れ価格が高くなり、販売量も少なくなった。高齢者もいなくなり、若者の流入もない。（小売）
・個人客が戻ってきていない。中小企業がコロナがあけても外食はしていない。（サービス）
・コロナ禍による需要の減少が減少緩和されたものの、再び人手不足が深刻化している。宴会などの大口案件の需要はあるものの、人で不足で受注を制限せざる得ない状況となり、売上減少となっている。（サービス）

●貴社の来春の採用状況についてお聞かせください

・業務拡張のため来年度後半から募集する。（製造）
・採用したいが目途がたたない。（建設）
・対象者が少ない為、採用につながらないと考えられる。（建設）
・常時、新入社員、中途採用の受入れをしている状況だが、ホテル業界は拘束時間の長さと不規則な労働時間、有給取得の実績の少なさ、賃金の水準が低いことなど、業界として大きな課題の一つになっている。（サービス）
・新規採用したいが見込みなし（サービス）

（※アンケート全体から一部抜粋しています。）